科目名	3	建設	2業	経	理	士対策										
科目名(英)																
単位数		1	単位			時間数		18時間		担当者		藤本	青貴			
実施年度		202	22年月	度		実施時期	玥	前期		担当者実務総	E 験					
対象学科・学年	糸	圣理科	42年													
授業概要	上 建	上木建	築工 で日	事を行 常発	行う: 生す		会計処				の建設業の一連 法とその考え方					
授業形式	講	義:	0)	演	習: △	実習	3 . 3 .	実	 技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲 そ	その他					目標						
	0					建設業簿記	の専門	門用語につ	ハて賞	学び、意味を記	兑明することが	できる。				
学習目標		0				取引情報の	処理•	作成に関す	るー	連の流れを理	里解し、説明が	できる。				
(到達目標)		0				建設業経理	士2級	め内容を排	型握し	、過去問題か	「すべて解答で	きる。				
テキスト・教材 参考図書	Ĭ	把类内部上及7吨到二寸上中扩大70元、作到17														
	回数		授業項目•内容 授業外学修指示													
	1	過去	授業項目・内容 授業外学修指示 過去問題演習/未成工事出金、工事進行基準の計算 授業内容に係る確認テストを実施するので、復習して おくこと													
	2	過去	問題	演習	3 /4	支店内部 和	」益、デ	完成工事補 ⁶	賞引	当金の計算	授業内容に係るおくこと	確認テストを実	施するので、復習して			
	3	過去	問題	演習]/ 非	·成工事受入	金の	処理				確認テストを実	施するので、復習して			
	4	過去	問題	演習	1 /本	·店集中計算	制度	の処理				確認テストを実	施するので、復習して			
	5	過去	問題	演習	3/完		報告:	 書作成			授業内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	6	過去	問題	演習	3/音		の作	 成				確認テストを実	施するので、復習して			
	7					事別原価計						確認テストを実	施するので、復習して			
授業計画	8	過去	問題	演習	3/扣	ム出単価の計	 算					確認テストを実	施するので、復習して			
	9					· 算整理、精						確認テストを実	施するので、復習して			
	10					***************************************		- 11 77			おくこと					
	11															
	12															
	13															
	14 15															
	(1)宿 以上	上を下	記の	観点	害・烹	回実施する。 剛合で評価す 90点以上)・/	る。				 	点以下)とす	·る。			
						言	語情	報 知的打	支能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
50 12 1-			定其	胡試馬	験			©			/	·—	60%			
評価方法			確認	テス	۲۲			0					20%			
		ł	言題・	レポ	<u>-</u> -			0			0		20%			
履修上の注意																

科目名	=	コンヒ	°a-	一方	会計演	習 I										
科目名(英)																
単位数		2単	位		時間数		30時間		担当者		小林 ء	£—				
実施年度		2022	年度		実施時期	切	前期		担当者実務網	圣験						
対象学科・学年	紀	整理科2	年													
										作成できるよう						
授業概要					を本的な仕組の	外を埋削	¥し、全経コン	/ ヒュ-	ータ会計能力を	食定3級取得を 	日指す。					
拉米以子		CDタスク		1	19. O	⇔ 312	1.	+	+ .	∨ ++	7 + :+ . O	この仏・ A				
授業形式	講	知的 運動	動態度		習: 0	実習	<u> </u>	実技	文: 		:る方法:〇	その他: △				
	情報	技能 技能	意欲	その他	証憑から仕	記た作	成できる		日 保	<u> </u>						
ᄴᅁᄆᄺ		0 0	,		仕訳をコンは			.) (- 7	しカできる							
学習目標 (到達目標)	0		_						・ガモンの 資益計算書を	作成できる						
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						2 021	- 只旧八加农	12 1- 1.	只皿미开自己	. IF IX. CE TO						
テキスト・教材		۔ ۔ صار ۱			* 九块宁 計段	: 2	まない 土田	野佳								
参考図書	_	コンピュータ会計能力検定試験3級 最新過去問題集 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数	数 授業項目·内容 授業外学修指示														
	1															
	2	証憑一	仕訳	の演	習											
	3	仕訳の	入力													
	4	入力済	f仕訳	デー	タを活用する)										
	5	入力済	会計	デー	タを活用する)										
	6	コンピュ	ュータ	会計	の基本的仕	組みの	理解									
140 44. =1	7	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒•解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
授業計画	8	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒•解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	9	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒•解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	10	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒•解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	11	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒•解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	12	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒•解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	13	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	習∙解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	14	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒•解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	15	コンピュ	ュータ	会計	3級 過去問	題演習	冒∙解説			過去問題を実施	するので復習し	ておくこと				
	以上	を下記	の観	点:	する。(2)授業 削合で評価す 90点以上)・⁄	⁻ る。				点以上)・D(59	点以下)とす	· ð 。				
					1	語情幸	日 知的技	能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
評価方法			平価テ			0	0		0			60%				
1 my 5 524			館記テ			0	0		0			20%				
		出席状	∜況・排	受業態	態度					0		20%				
履修上の注意	7	フ ークブ	゚ックと	電卓	を必ず持参	するこ	<u> </u>			l		I				

科目名	(GCB I	I													
 科目名(英)	G	ilobal Cit	tizen	Bas	ic II											
単位数		1単位	立		時間数		16時間	担当者		藤本	青貴					
 実施年度		2022年	 F度		 実施時期		 前期	担当者実務								
対象学科・学年	糸															
ארי דין דין				通し	て、以下の3つの	力を持	持つグローバ	バルシティズン	を目指す							
授業概要	Ę		己を	革新	1 一 バル化を見振 する成長力 ・与						きまえた自分像に 					
授業形式	講	義: (0	演 [:]	習: 実	習:	実	技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 運動 技能		その他				目標	Ę							
		0			考えることの大り											
学習目標		0			自分の言葉で伝											
(到達目標)		0			目標の大切さ、				き る。							
		0			行動する大切さ	を埋削	手す ることか	でさる。								
テキスト・教材																
参考図書	屏	#生情報ビジネス専門学校 グローバルシティンズンベーシック II 志の教育 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数	授業項目•内容 授業外学修指示														
	1	グローノ	バルシ	ンティ	グズンと志				振返りレポート							
	2	なぜ志る	を立っ	てるこ	 ことが大切なのか				振返りレポート							
	3	自己を知	印る						振返りレポート							
	4	伝えるが		学ぶ (1)				振返りレポート							
	5	伝えるが							振返りレポート							
	6				の人生に感謝し、	志高く	 (生きる		振返りレポート							
	7				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				振返りレポート							
授業計画	8	GCB II 7	を受	講して	て、私が感じたこと	と・気つ	づい <i>た</i> こと・5	学んだこと	振返りレポート							
	9															
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15															
	以上	-を下記(の観	点:	施する (2)授業態 割合で評価する。 ○点以上)・D(59点											
					言語性	青報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
評価方法		L	ノポー	-ト			0				60%					
El MAJ YAX		出席状	況・指	受業態	態度				©		40%					
履修上の注意																

科目名	t	ごジネ	ス	マ:	 ナ—											
科目名(英)																
単位数		2単位	立		時間数		40時間	担当者		姫嶋 🕏	 幸子					
実施年度		2022年	=度		実施時期	i	前期	担当者実務	経験							
対象学科・学年	糸	 圣理科2年	<u> </u>													
								内文書・社外ス て章作成を習得	文書の作成の 得する。	壮方、社交文	て書の					
汉不师女	i(CDタスク	⊐—I	ド	SP02.12.4											
授業形式	講	義: (C	演	習: △	実習:	美		※ 主た	:る方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他			<u>'</u>	目標	Ę							
	0	0							実際に書くこと							
学習目標 (到達目標)		0			主語・述語を	明確にし	た分かりや	すい文章を正	しい漢字を使っ	って書くことだ	ができる。 					
(四年日本/																
テキスト・教材 参考図書		ビジネス文書検定実問題集、プリント 回数 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数	数 授業項目·内容 授業外学修指示														
	1 ビジネス文書とは															
	2	ビジネス	₹コミ:	ュニ	ケーション・メー	ール編										
	3~5	表記技能	能													
	6~8	表現技能	能													
	9	理解度	テスト	/解	説				理解度テストのか	とめの復習						
	10~12	社内文	書													
授業計画	13~15	社外文	書													
IXANI I	16~19	過去問題	題													
	20	理解度	テスト	/解	説				理解度テストのか	こめの復習						
	以上	を下記	の観	点:害	引合で評価する	る			(3)宿題のファ 点以上)・D(59							
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
評価方法			解度 テ			0	0				60%					
			トテス			0	0				20%					
		佰足	直ファ	1ル			0		©		20%					
履修上の注意																

科目名	17.	教養	ŧⅡ	•												
科目名(英)																
単位数		2.	単位			時間数		30時間		担当者		藤井 裕	<u>`</u>			
実施年度		202	22年	度		実施時期		前期	1	担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	糸	圣理科	2年													
授業概要	ē	る為の	国語	を記	副教	めのSPI(非言語 科とする。	∗言語	語)の内容を	学,	ぶ。論理的原	思考を養う数学	学を主教科、	読解力を強化す			
1xt 40 m/ b		CDタス			- '		. จา				*\ <u>\</u>	7 + 1 - 0	7.0/11. 4			
授業形式	語	義: _{知的}	運動	態度	演	省: <u></u>	習:		実技	.: 目標		:る方法:〇	その他:△			
	情報	技能	技能	意欲	その他		重(指え	太• 什事 • 雜	9 .							
学習目標	0					言語能力問題(.										
(到達目標)											,,,,,					
テキスト・教材 参考図書	S															
	回数															
	1	損益	算()	原価	「、利	益、定価の算出),=	語関係								
	2	損益	算()	原価	〔、利	益、定価の算出),=	語関係			損益算の復習を	しておく				
	3	仕事	算(<u>i</u>	単位	量の)捉え方)、二語	関係									
	4	仕事	算(<u>i</u>	単位	量の)捉え方)、文法					仕事算の復習を	しておく				
	5	鶴亀	算(;	連立	方科	星式への導入)、	文法									
	6	鶴亀	算(;	連立	方科	星式への導入)、	語句の)意味			鶴亀算の復習を	しておく				
+∞ ** = T ==	7	速さ	- 時間	罰•跙	巨離((公式の使い方)	、語句	の意味								
授業計画	8	速さ	- 時間	罰•跙	巨離((公式の使い方)	、短文	の穴埋め			速さ・時間・距離	問題の復習をし	ておく			
	9	場合	· の数	(条	件分	}けの理解)、短こ	文のグ	で埋め								
	10	確率	、文	章整	序											
	11	グラ	フの	領域	忧(式	とグラフの識別)	、文章	整序								
	12	グラ	フの	領域	t(式	とグラフの識別)	、空欄	關補充			グラフの問題を行	复習しておく				
	13	図表	の詩	。 みI	取り、	空欄補充										
	14	新傾	向問]題((思考	 き力を養う実践的	計算)								
	15	新傾	向問]題((思考	 き力を養う長文読	解)									
						実施する。(2)授: 90点以上)・A(80										
						言語作	青報	知的技能	1	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法				胡試		0							60%			
			確認	とテス	スト	0							40%			
履修上の注意																

科目名	=	++	ァリア	アデキ	デインΑ										
科目名(英)															
単位数		2	単位		時間数		30時間	担当者		藤本	青貴				
実施年度		20	22年度	麦	実施時期	Ą	前期	担当者実務総	圣験						
対象学科・学年	糸	圣理和	42年												
授業概要		就職 ナビ +	試験の	面接に利用した	合格する為に構	莫擬面接る	ンート」を作成す を行い、質問の 法を学び、受駅	趣旨に沿った的	的確な受け答え ける。	が出来るよう!	こなる。				
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習:	実	 技:	※ 主た	.る方法∶○	その他:△				
	言語情報	知的 技能	運動 態技能 意	態度 その他				目標	<u> </u>						
	0	0			志望する業績	界∙職種ℓ	こついての特	徴を正しく理解	解し、志望理由	を説明できん	3 。				
学習目標	0	0			学んで来たす	資格や自	身の強みにつ	ついて体系的	にまとめ、履歴	書を作成で	きる。				
(到達目標)	0	0	0		面接の手順	を理解し	、ロールプレ・	イングにおい	て立ち居振る舞	舞いを実行で	きる。				
	0	0			面接において	て受けた	質問に対して	的確に受ける	答えを行える。						
	0	0			ウェブの就職	は活動ナ	ビサイトを利用	用し、エントリ-	ーや受験手続	を実行できる	00				
テキスト・教材 参考図書	京	就職ガイドブック(麻生塾)													
	回数														
	1	就聵	環境	を知ろう	5①就職活動	の流れと	:スケジュール	,							
	2	就聙	環境	を知ろう	5②様々な雇	用形態と	:働き方								
	3	自己	分析	•他己分	 }析①										
	4	自己	分析	•他己分	 }析②										
	5				の基礎知識				企業研究レポー	トを作成・提出。					
				<u> </u>											
	7				PR作成				自己PR等の課題	を作成・提出。					
授業計画					・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
		-			が 水職票受付配			,							
					・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		0.6子次								
					画接のマテー グループディ										
					よくある質問		:对策 —————								
					ロールプレイ										
	15	面接	試験	対策⑥	課題フィード	バック									
	以」	上を下	記の	観点·害	歴書の作成な 削合で評価す 点以上)・D(5	る。									
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法		履歴	書・レ	ポート	提出	0	0				40%				
日下川山ノンスス			面接	練習		0	0	0	0		40%				
		授業	態度	、出席丬	犬況				0		20%				
								<u> </u>							
履修上の注意	ㅂ	出席な	が10回	(全15回	回)に満たない	場合は	単位認定でき	ない。							

科目名	i	高度	財	務会	計皿										
科目名(英)															
単位数		5.	単位		時間数		80時間	担当者		藤本清	青貴				
実施年度		202	22年度		実施時期	坍	前期	担当者実務	経験						
対象学科・学年	糸	圣理科	12年												
授業概要		度の資 る知識	【格試 】	験に合 引する。	ì格することが 。講義では、i	「目標。1 過去試験	E業の経営活 問題の演習	5動を記録・計	算し、その結果 		日商1級等の高 によって報告す				
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習:	3	€技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 情報		運動 態度 技能 意名	葉 その他			"	目棋	# #						
	0				会計専門用	語につし	ヽて学び、意	味を説明する:	ことができる。						
学習目標		0						·- · · · · ·	理解し、説明が						
(到達目標)	_	0			日商簿記1約	級の全般	と(企業結合:	会計が中心)の)問題が解答で	きる。					
テキスト・教材															
参考図書	E														
	回数				授業	項目·内	 容			授業外学修	指示				
	1-3	直前:	対策模	擬試験	₹•復習/商品売	⋶買∙特殊	商品売買		教科書の該当範	囲を事前に読ん	いでおくこと				
	4-6	直前:	対策模	擬試験	₹•復習/工事契	2約、税效]果		教科書の該当範	囲を事前に読ん	いでおくこと				
	7-9	直前:	対策模	擬試験	₹・復習/有価証	E券、外貨	建て、デリバ	ティブ取引	教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	10-12	直前:	対策模	擬試験		定資産			教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	13-15	直前:	対策模	擬試騎		己帳、減損	会計、資産隊	去債務	教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	16-18	直前:	対策模	擬試騎	・復習/リース ○	取引			教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	19-21	直前:	対策模	擬試験	҈•復習/無形固	定資産、	投資その他の)資産	教科書の該当範	囲を事前に読ん	いでおくこと				
授業計画	22-24	直前:	対策模	擬試験	•復習/繰延資	 愛産、研究	2開発費		教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	25-27	直前:	対策模	擬試験		2、退職給	计引当金、社	 :債	教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	28-30	直前	対策模	擬試験		Ē			教科書の該当範	囲を事前に読ん	いでおくこと				
	31-33	直前:	対策模	擬試験		会計、企	҈業結合・合併		教科書の該当範	囲を事前に読ん	いでおくこと				
	34-36	直前:	対策模	擬試験	• 復習/連結会	計、株式	交換、会社分	·割	教科書の該当範	囲を事前に読ん	ンでおくこと				
	37-39	直前:	対策模	擬試験	• 復習/外貨建	財務諸君	 長項目		教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	40	直前:	対策模	擬試験	・復習/キャッ	シュフロー	-計算書		教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	以」	上を下	記の観	見点・割	する。(2)授業 引合で評価す 90点以上)・/	る。			_ 点以上)•D(59	点以下)とす	る 。				
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法	_		定期			0	0				60%				
			宮題・レ			0	0		0		20%				
	\vdash	山席	状況∙	授 耒	5. 足				0		20%				
履修上の注意															

科目名	7	 高度領		一	 計皿										
科目名(英)	<u> </u>														
単位数					時間数		80時間	担当者		 新田					
実施年度		2022年			実施時期	1	前期	担当者実務							
対象学科・学年	£	圣理科2 ^年				•	10.741	22124							
对象子科"子平				第記は	金宝2級レベルが	(理解でき	ている学生を対	多としています 子		5年の享度の答	各試験に合格する実				
授業概要	ナ 第	を身につ	けさせ・ ヾての!	る授第 学生 <i>t</i>	美を行う。主に製	造業の経済	営活動を記録・詞	†算し、その結果る		て報告・分析する	る知識を習得する。講				
授業形式	講	義: (0	演	習: Δ	実習:	美	受技:	※ 主た	-る方法∶○	その他:△				
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他		l	1	目標	<u> </u>						
	0								説明すること	ができる。					
学習目標 (到達目標)		0						、説明ができる							
		0			日商溥記 1 和	以の全般	(財務分析力	ヤー・中心)の問題	が解答できる	0					
テキスト・教材	E	日商簿記ズバリ!1級的中完全予想模試、全経簿記 上級 過去問題集													
参考図書		日商簿記ズバリ! 1級的中完全予想模試、全経簿記 上級 過去問題集 回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
		カ科車の該当新田を事前に詰んでおくこと													
	1-3				₩ '復百				教科書の該当範	囲を事前に読ん	しておくこと				
	4-6								教科書の該当範	5囲を事前に読ん	しておくこと				
		直前対策							教科書の該当範	5囲を事前に読ん	しておくこと				
	-	直前対:							教科書の該当範	囲を事前に読ん	√でおくこと				
	-	直前対:							教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと				
	-	直前対:							教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと				
授業計画		直前対							教科書の該当範	短を事前に読ん	しでおくこと				
	-	直前対							教科書の該当範	囲を事前に読ん	vでおくこと				
		直前対							教科書の該当範	囲を事前に読ん	vでおくこと				
	-	直前対							教科書の該当範	囲を事前に読ん	Jでおくこと				
	-	直前対							教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと				
	-	直前対							教科書の該当範	囲を事前に読ん	しでおくこと				
	40	直前対	策模技	疑試	————— 験∙復習				教科書の該当範	囲を事前に読ん	vでおくこと				
	以上	上を下記	の観り	点•害	T	る。 ((80点り	↓上)•B(70点	以上)·C(60,	点以上)·D(59		· I				
		=	期試	辝	百	語情報 ◎	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
評価方法			. 期試 ・レオ			0	0		0		20%				
		出席状							0		20%				
履修上の注意															

科目名	虐	高度則	才	务会	計W										
科目名(英)															
単位数		3単位	立		時間数		52時間	担当者	Ť	藤本	青貴				
実施年度		2022年	F度		実施時期	1	前期	担当者実務	経験						
対象学科・学年	経	理科2年	Ŧ												
授業概要	度 る	の資格	試験 習得	に合 する。	格することが。講義では、i	目標。企 過去試験	≧業の経営活 問題の演習	舌動を記録・計	ト算し、その結り 		日商1級等の高 によって報告す				
授業形式	講義	Ē: (0	演	習: Δ	実習:	3	実技:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法∶○	その他:△				
		知的 運動技能 技能		その他			1	目	漂						
	0				会計専門用語	語につい	て学び、意	味を説明する	ことができる。						
学習目標	\vdash	0							理解し、説明か						
(到達目標)		0			日商簿記1級	め全般	(企業結合:	会計が中心)(の問題が解答で	できる。					
テキスト・教材															
参考図書	日														
	回数				授業項	頁目•内?	 容			授業外学修	指示				
	1-2	数 授業項目・内容 授業外学修指示 -2 過去問題演習・復習/オプション、減損会計 為替予約、CF計算書													
	3-4	過去問題	夏演習	₹ 後	習/企業結合会	計、ストッ	,ク・オプション	ノ、償却原価法	教科書の該当軍	節囲を事前に読 ん	しでおくこと				
	5-6	過去問題	直演習	』 復	習/資産除去債	務、財務	比率		教科書の該当軍	節囲を事前に読 ん	しでおくこと				
	7-8 3	過去問題	夏演習	習•復	習/本支店会計	、ソフトウ	ェア、退職給	i付会計	教科書の該当軍	節囲を事前に読 ん	んでおくこと				
	9-10	過去問題	夏演習	習•復	習/連結会計、	純資産会	計、会計方針	か変更等	教科書の該当軍	節囲を事前に読 ん	んでおくこと				
	11-12	過去問題	夏演 習	』 復	習/工事契約会	計、ヘッシ	グ会計		教科書の該当軍	節囲を事前に読ん	んでおくこと				
	13-14	過去問題	夏演 習	』 復	習/会社の清算	、外貨建	て有価証券、	自己株式	教科書の該当軍	節囲を事前に読ん	んでおくこと				
授業計画	15-16	過去問題	直演習	ॗॗॱ彼	習/割賦販売、	資産除去	債務、連結会	計	教科書の該当軍	范囲を事前に読 ん	んでおくこと				
	17-18	過去問題	夏演習	₹ 後	習/リース会計、	電子記録	录債権∙債務		教科書の該当軍	節囲を事前に読ん	んでおくこと				
	19-20	過去問題	夏演 習	』 復	習/キャッシュフ	ロー見積	法、棚卸資產	 È	教科書の該当筆	節囲を事前に読 ん	んでおくこと				
	21-22	過去問題	直演習	』 復		結会計			教科書の該当筆	節囲を事前に読 ん	しでおくこと				
	23-24	過去問題	直演 習	3 · 復 ·		結会計			教科書の該当筆	節囲を事前に読 ん	しでおくこと				
					習/工事契約会		 ッシュ・フロー	 計算書	教科書の該当軍	范囲を事前に読 ん	んでおくこと				
	以上	を下記	の観	点:	する。(2)授業の 引合で評価す 90点以上)・A	る。)点以下)とす	·-る。				
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法			期記			0	0				60%				
				╬┷╏		0	0		0		20%				
		出席状	况•∄	党 莱原	態度				©		20%				
履修上の注意										<u> </u>					

科目名	7	高度管		会	:計V										
 科目名(英)	'														
単位数		3単位	<u>寸</u>		時間数		52時間	担当者		新田					
実施年度		2022年	 F度		実施時期		 前期	担当者実務	経験						
対象学科・学年	糸	圣理科2年	 E		7 10- 211										
授業概要	こ 力 第	の講義は	、日商が けさせん くての	る授業 学生 <i>t</i>	美を行う。主に製き	造業の経営	営活動を記録・討	†算し、その結果る		て報告・分析す	格試験に合格する実 る知識を習得する。講 ってもらう。				
授業形式	講	義: ()	演	習: △	実習:	実	· 注技:	※ 主た	る方法:O	その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語報	知的 達動 達能		その他	予算管理の-	一連の流	れを理解し	、説明ができる	説明すること		解答できる。				
テキスト・教材 参考図書	E	**************************************													
	回数	がいきのきいが回さまからましてい!													
	1-2	-2 直前対策模擬試験・復習 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと													
	3-4	直前対:	策模摄	疑試	験∙復習				教科書の該当範						
	5-6	直前対:	策模摄	疑試	験∙復習				教科書の該当範						
	7–8				験∙復習				教科書の該当範						
	-	直前対							教科書の該当範 教科書の該当範						
	_	直前対:							教科書の該当軍教科書の該当軍						
授業計画	-	直前対							教科書の該当戦						
	-		-		験∙復習 				教科書の該当戦						
	_		-		験·復習 				教科書の該当戦						
	-		-		験•復習 				教科書の該当戦						
	_		-		験•復習 				教科書の該当戦						
	_		-		験•復習 				教科書の該当範						
	25-26	直前対:	策模	疑試	験∙復習				が 日の 欧コギ	四と手別で肌が	0 (83)(22				
	点以下)とす	·													
		定	期試	験	A	語情報 ◎	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合 60%				
評価方法			・レオ			0	0		0		20%				
		出席状	況・授	業態	態度				0		20%				
履修上の注意															

								•••	. —						
科目名	Ś	簙記	B論A	I											
科目名(英)															
単位数		4 <u>i</u>	単位		時間数		60時間	担当	当者		新田	覚			
実施年度		202	2年度		実施時期	坍	前期	担当者写	ミ務経験						
対象学科・学年	糸	圣理科	2年												
授業概要	() ()	するた 必要が	めに財産	多諸表 のルー		务諸表を誰	が見ても同様	に解釈できる。	うにするた	こめには、財	務諸表を作る際	の経営状態を明らか Rのルールを決めてお 「る。			
授業形式	講	義:	0	演	 習: △	実習:		実技:		※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他		1			目標						
	0				勘定科目や			-		仕訳が出	来る				
学習目標 (到達目標)		0			簿記の計算	構造を理	解し帳票化	F成が出来る	5						
(判注日保/															
テキスト・教材															
参考図書	₹ Đ	说理士	試験問	問題集	≨簿記論•財務	络諸表論	I 基礎導入	、編•Ⅱ基礎	完成編・	Ⅲ応用編	i				
	回数	超光中面上区7.000000000000000000000000000000000000													
	1-3	簿記-	— <u>;///</u>						授業		確認テストを実	施するので、復習して			
	4-6	現金	預金							内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	7-9	金銭(漬権							内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	10-12	棚卸貨	 資産						授業	内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	13-15	有形[固定資産	重 無	————— 形固定資産				おくる 授業 おくる	内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	16-18	営業領	 費							内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	19-21	金融市	商品						授業	内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
授業計画	22-24	法人和	脱等∙租	税公	 課					内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して			
	25-27	税効	果会計							内容に係る	実力テストを実	施するので、復習して			
			脱等の会	会計奴	 L理					内容に係る	実力テストを実	施するので、復習して			
									おくこ						
	-				1	- 1									
	以上	-を下	記の観	点:語	する。(2)授業 割合で評価す 90点以上)・/	⁻ る。				上)•D(59	点以下)とす	- る。			
					言	語情報	知的技能	運動技	能態	度∙意欲	その他	評価割合			
評価方法			定期テ			0	0					60%			
H1 10075 (00)			題・レ			0	0			0		20%			
		出席	状況∙扌	受業原	態度					0		20%			
履修上の注意							ı					1			

								· · · · ·							
科目名	ŝ	簙訂	己論	АΙΙ											
科目名(英)															
単位数		4	単位		時間数		60時間	担当者		新田					
実施年度		202	22年度	Ę	実施時期	Я	前期	担当者実務	経験						
対象学科・学年	糸	圣理科	42年					•							
授業概要	() ()	するた 必要が	とめに財	務諸表	を作成する。財産	务諸表を誰	が見ても同様		するためには、則	対務諸表を作る際	の経営状態を明らか そのルールを決めてお ⁻ る。				
授業形式	講	義:	0	演 ²	 習: Δ	実習:	:	実技:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法: O	その他:△				
	言語 情報	知的 技能	運動 態技能 意	度 欲 その他			'	目相	票						
	0						-	兄の仕組みを理	!解し仕訳が出	来る					
学習目標 (到達目標)		0			簿記の計算	構造を理	解し帳票件	F成が出来る 							
(到建日保/															
ニキフレ・粉サ															
テキスト・教材 参考図書	利	り きゅうりょう りょう かいりょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ しんしょ しんしょ しんしょ しんしょう しんしょ しんしょ	試験	問題集	≨簿記論·財務	務諸表論	I 基礎導入	、編•Ⅱ基礎完月	贞編・Ⅲ応用 総						
	回数	数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	1-3	リース	ス取引						授業内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して				
	4-6	減損	会計							確認テストを実	施するので、復習して				
	7-9	退職	給付会	·計					授業内容に係る	確認テストを実	施するので、復習して				
	10-12	引当:								確認テストを実	施するので、復習して				
	13-15	純資	産会計	<u> </u>						確認テストを実	施するので、復習して				
	16-18	繰延	資産							確認テストを実	施するので、復習して				
	19-21	外貨	建換算	(会計						確認テストを実	施するので、復習して				
授業計画			商品売							確認テストを実	施するので、復習して				
			除去債							実力テストを実	施するので、復習して				
		収益		- 123						実力テストを実	施するので、復習して				
		1	пи-и-у-						おくこと						
	以上	-を下	記の	観点·害	する。(2)授業 引合で評価す 90点以上)・/	る。		.提出を行う。 点以上)・C(60	点以上)・D(59	点以下)とす	·る。				
					言	語情報	知的技能	追動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法			定期	テスト		0	0				60%				
計画刀丛				ノポート		0	0		0		20%				
		出席	状況	•授業!	態度				0		20%				
履修上の注意															

科目名	Ş	簿記論AⅢ												
科目名(英)														
単位数		4単	位		時間数		60時間	担当者	j	新田	覚			
実施年度		2022호	年度		実施時期		前期	担当者実務	経験					
対象学科・学年	糸		 年											
授業概要	ات ري	こするため	に財務 り、その	多諸表 のルー		諸表を誰だ	が見ても同様に	こ解釈できるように	こするためには、貝	オ務諸表を作る降	の経営状態を明らか 祭のルールを決めてお する。			
授業形式	講		0	演	習: △	実習:	9	実技:	※ 主#	たる方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動技能 技能	態度 意欲	その他		目標								
	0		_	<u> </u>				の仕組みを理	!解し仕訳が出	来る				
学習目標 (到達目標)	<u> </u>	0	_	┼	簿記の計算構	賃造を理	解し帳票作	成が出来る						
(判注口1末/	igdash													
	H	-	+-	+										
テキスト・教材 参考図書	利													
	回数				授業項	目・内容	容			授業外学修指示				
	1-3	本支店会	会計					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
	4-6	商的工	業簿訂	5				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと 授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
	7-9	本社工均	場会計	+										
	10-12	建設業金	会計					授業内容に係る研		るので、復習しておくこと				
	13-15	過年度達	遡及ኇ	会計				授業内容に係る研	望認テストを実施す	るので、復習しておくこと				
	16-18	組織再約	編			授業内容に係る研	筆認テストを実施す	「るので、復習しておくこと						
ᄺ	19-21	連結会詞	計			授業内容に係る研	宝認テストを実施す	るので、復習しておくこと						
授業計画	22-24	キャッシ	゚゚゚ユ・フ	<u></u>	計算書	授業内容に係る研	宝認テストを実施す	るので、復習しておくこと						
	25-27	デリバテ	ティブ				-	-	授業内容に係る多	ミカテストを実施す	るので、復習しておくこと			
	28-30	帳簿組絲	織伝	票会	 計		授業内容に係る多	ミカテストを実施す	るので、復習しておくこと					
									+					
	H													
	H								+					
	以上	(1)評価テストを実施する。(2)授業の中で課題を作成し提出を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
	<u> </u>					吾情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法	<u> </u>		関ラ			<u> </u>	0				60%			
	<u> </u>	但 出席状	題・レ7			0	©		© ©		20%			
	\vdash	<u>штл</u>	. ル レコ.	又木丸	81文						20/0			
									-					
									+					
履修上の注意														

				/									
科目名	財務諸表論AI												
科目名(英)													
単位数		4単	单位		時間数		60時間	担当者		梶山	豊		
実施年度		2022	2年度		実施時期	切	前期	担当者実務	経験				
対象学科•学年	糸	圣理科	2年					•					
授業概要	主の	財務諸表論では、税理士科目の簿記論と同様に税理士試験必須科目として学習する科目となります。簿記論では財務諸表の作成を中心とした学習に対して、財務諸表論では、利主や債権者など企業の利害関係者へ、財政状態及び経営成績を報告するための財務諸表(貸借対照表・損益計算書、キャッシュフロー計算書、株主資本等計算書など)の理解との作成方法を問われる科目です。財務諸表論の授業では、税理士試験必須科目の財務諸表論の合格を目指します。 iCDタスクコード											
	_	義:	0	· 演	i 習: △	実習:		 €技:	※ 主 <i>t</i> :	 :る方法∶O	その他:△		
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲				目標								
学習目標 (到達目標)	○ 財務諸表論の全体構造を理解できる。 ○ 会計公準・会計原則・概念フレームワークを理解できる。												
テキスト・教材 参考図書													
	回数				授業	項目·内	容			授業外学修指示			
	1-3	基礎線	Ħ				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
	4-6	財務請	å表論₫)基礎	知識	おくこと	受業内容に係る確認テストを実施するので、復習して おくこと 受業内容に係る確認テストを実施するので、復習して						
		財務請	ŧ表論 <i>0</i>)全体	構造		おくこと						
	10- 12	貸借対	照表				おくこと						
	13- 15	損益計	算書			おくこと		施するので、復習して					
	16- 18	会社法	法開示 制	间度		おくこと		施するので、復習して					
授業計画	19- 21	注記事	項等			おくこと		施するので、復習して					
	22- 24	四半其	財務語	者表		おくこと		施するので、復習して					
	25- 27	貸借対	対照表 <i>0</i>)概要	<u>.</u>	おくこと	授業内容に係る実カテストを実施するので、復習して おくこと 授業内容に係る実カテストを実施するので、復習して						
	28- 30	金銭債	権の評	平価		授業内容に係るおくこと	実力テストを実	施するので、復習して					
	以上	(1)評価テストを実施する。(2)授業の中で課題を作成し提出を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			定期テ	スト		語情報 ◎	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合 60%		
評価方法			題・レ ⁷		-	0	0		0		20%		
		出席	伏況・拮	受業態	態度				0		20%		
履修上の注意													

								****	117114-1-1-1					
科目名	財務諸表論AⅡ													
科目名(英)														
単位数		4	単位		時間数		60時間 担当者			梶山	豊			
実施年度		202	22年月		実施時期	1	前期	担当者実務	経験					
対象学科·学年	糸	圣理科	42年											
授業概要	主の	財務諸表論では、税理士科目の簿記論と同様に税理士試験必須科目として学習する科目となります。簿記論では財務諸表の作成を中心とした学習に対して、財務諸表論では、 主や債権者など企業の利害関係者へ、財政状態及び経営成績を報告するための財務諸表(貸借対照表・損益計算書、キャッシュフロー計算書、株主資本等計算書など)の理解と の作成方法を問われる科目です。財務諸表論の授業では、税理士試験必須科目の財務諸表論の合格を目指します。												
授業形式	講	 義:	0	演 ²	<u>·</u> 習: △	実習:	5	 実技:	※ 主た	-る方法∶〇	その他:△			
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他													
	0				財務諸表論の									
学習目標		○ 会計公準・会計原則・概念フレームワークを理解できる。												
(到達目標)														
	7													
トキスト・教材 参考図書					┊薄記論・財務 詳財務諸表論:				又編• Ⅲ 心用 稱	1 .				
	回数					 頁目 • 内?	 容		授業外学修指示					
	1-3	棚卸	資産					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
	4-6	金融	商品					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
			バティ	 ブ				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
	-		固定資					授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
	-		ス会計					授業内容に係る確	認テストを実施す	るので、復習しておくこと				
			固定資				授業内容に係る確	認テストを実施す	るので、復習しておくこと					
	-	減損				授業内容に係る確	認テストを実施す	るので、復習しておくこと						
授業計画	-	繰延					授業内容に係る確	認テストを実施す	るので、復習しておくこと					
		負債					授業内容に係る実	カテストを実施す	るので、復習しておくこと					
			給付金	스타			授業内容に係る実	カテストを実施す	るので、復習しておくこと					
	20 00	JE2403	·ФЦ 1-3-2	<u> </u>										
	以上	(1)評価テストを実施する。(2)授業の中で課題を作成し提出を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法				テスト		0	0			_	60%			
1 MY 2 124				レポート		0	0		0		20%			
		出席	状況	. 授業態	態度				0		20%			
履修上の注意							1				1			

								****	11718-1-1	- 3,133 12				
科目名	財務諸表論AⅢ													
科目名(英)														
単位数		4	単位		時間数		60時間 担当者			梶山	豊			
実施年度		202	22年月	隻	実施時期	Я	前期	前期 担当者実務総						
対象学科・学年	糸	圣理科	斗2年					•						
授業概要	主の	財務諸表論では、税理士科目の簿記論と同様に税理士試験必須科目として学習する科目となります。簿記論では財務諸表の作成を中心とした学習に対して、財務諸表論では、 主や債権者など企業の利害関係者へ、財政状態及び経営成績を報告するための財務諸表(貸借対照表・掲益計算書、キャッシュフロー計算書、株主資本等計算書など)の理解の作成方法を問われる科目です。財務諸表論の授業では、税理士試験必須科目の財務諸表論の合格を目指します。 iCDタスクコード												
授業形式	講	—— 義:	0	演 [:]	習: Δ	実習:	3	 ≷技:	※ 主た		その他:△			
	言語情報	知的 技能	運動 競技能 泵	態度 意欲 その他		目標								
	0	財務諸表論の全体構造を理解できる。												
学習目標		○ 会計公準・会計原則・概念フレームワークを理解できる。												
(到達目標)														
	7	 税理士試験問題集簿記論·財務諸表論 I 基礎導入編· II 基礎完成編· III 応用編、												
テキスト・教材 参考図書	れ れ	兄埋ゴ 兑理ゴ	ヒ試験 と試験	同選集 教科書	漢記論·財務 財務諸表論	新諸表論 理論編	1 基礎導入 ネットスクー	編・Ⅱ 基礎元原 ル出版	又編• Ⅲ 心用 稱	1 .				
	回数						 容		授業外学修指示					
	1-3	純資	産会計	' †				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと						
	4-6	税効	果会訂	+			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと							
	7-9			書の概要	<u> </u>		授業内容に係る確認	テストを実施するの	で、復習しておくこと					
	-		-		認識基準		授業内容に係る確認	テストを実施するの	で、復習しておくこと					
	-		建換算		HIGH HAVE TO 1		授業内容に係る確認	テストを実施するの	で、復習しておくこと					
	-		業会計			授業内容に係る確認	テストを実施するの	で、復習しておくこと						
			財務調			授業内容に係る確認	テストを実施するの	で、復習しておくこと						
授業計画	-		財務調			授業内容に係る確認	テストを実施するの	で、復習しておくこと						
		組織				授業内容に係る実力	テストを実施するの	で、復習しておくこと						
	-			・フロー言	 +筲建	授業内容に係る実力	授業内容に係る実力テストを実施するので、復習しておくこと							
		, , ,		,	T# 6									
	以上	(1)評価テストを実施する。(2)授業の中で課題を作成し提出を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法				テスト		0	0				60%			
14 Mark 27 (124)				レポート		0	0		0		20%			
		出席	状況	.•授業態	態度				0		20%			
履修上の注意							1		1		1			